

資料

平成21年度大学入試センター試験英語リスニングにおける
解答中に不具合等の申出があった機器の検証結果等について

大学入試センター

1. はじめに

大学入試センターでは、平成21年1月に行った英語リスニングテストにおいて不具合等の申出があった機器の調査分析を行った。

2. 機器の検証結果

検証の対象としたのは、解答中に不具合等の申出があったもの210台及び「解答開始前に不具合等の申出があったもの」138台である。ここでは主に「解答中に不具合等の申出があったもの」の検証結果について述べる。（詳細は平成21年4月28日公表の資料を参照）

主な原因は、「再生ボタンの長押し失敗」、「受験者が機器の不具合と受けとめたと考えられるもの」、「検証では不具合が再現せず、かつ申出症状等から原因の推定もできなかったもの」で、あわせて全体の9割を占めているが、機器本体に起因する不具合では

ない。このことについては、受験者への機器の操作方法を確実に事前周知を徹底することにより解決できるものと考えている。

参考までに、「解答開始前に不具合等の申出があったもの」138台について、検証結果を述べる。

機器の製造等に起因する不具合が15台、機器の使用環境等に起因するものが17台、受験者から不具合の申出があったが、検証の結果、機器の不具合ではなかったものが106台であった。

3. 今後の取組等

検証結果を踏まえた上で、引き続き、機器に起因する不具合を減少させるため、製造時の品質管理の徹底、検査の強化を一層高めるよう努力するとともに、ホームページ等の操作ガイドを活用して、受験者に対する機器の操作方法の事前周知に努めていきたい。

平成21年度大学入試センター試験英語リスニングにおける
解答中に不具合等の申出があった機器の検証結果等について

1 検証対象機器台数 210台

解答中に不具合等の申出があった機器台数256台のうち、机上からの落下等の申出により交換した46台を除く210台を検証対象とした。

（参考）リスニング受験者数 494,541人

2 検証方法

不具合の申出があった機器について、メーカーが検証作業を実施。
すべての機器について大学入試センター職員もヒアリング検査を実施。

3 検証結果

（ ）は昨年度

機器の不具合の要因	台数
A 機器の製造等に起因する不具合 ・ IC不良 ・ イヤホン不良	11 (15)
B 機器の使用環境等に起因するもの ・ 音声メモリー挿入時に机上のゴミが付着	4 (17)
C 受験者から不具合の申出があったが、検証の結果、機器の不具合ではなかったもの ○推定要因 ・ 再生ボタンの長押し失敗 ・ 受験者が機器の不具合と受けとめたと考えられるもの ・ 検証では不具合が再現せず、かつ申出症状等から原因の推定もできなかったもの	195 (110)

4 改善案

機器製造時の品質管理及び検査を徹底するとともに、受験者に対する機器の操作方法の事前周知に努める。